

双葉西小だより

平成30年11月22号 文責 学校長 中村 雅彦

西小まつりへの参加,ありがとうございました!



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

11月15日(木)に実施した西小まつりは、保護者、祖父母、地域の皆様など約400名にのぼる大勢の方のご参加をいただく中で、盛大に開催することができました。この日に向けて子供たちは「明るく元気よく発表し 地域の人や周りの人と楽しもう」を全校の目標として、限られた時間の中を精一杯の準備してきました。発表内容は各学年とも、参観者への心のこもったメッセージを伝える内容で、素晴らしいものでした。会場全体の一体感が強く感じられ、皆さんの声援や拍手で子どもたちはますますがんばることができました。

今年も、「ふたすけお話し隊えがお」の皆さんには、『からすのパンやさん』(かこさとし作)の読み聞かせをしていただきました。楽しいストーリーの展開に、子供たちも参観者も笑顔で聞き入っていました。また、教職員も地域の皆様方と子供たちのためにと急造の演奏集団をつくり、ささやかな発表をさせていただきました。

ご参加いただいた皆様の協力により心温まる西小まつりになりました。心より感謝申し上げます。

やはたいぬくん がやって来ました!子どもあいさつ運動

甲斐市では「甲斐っ子の宝」を提唱し「心を揃える整理整頓(下駄箱・机・ロッカー)」「心を磨く清掃活動」「心を伝える爽やかな挨拶」に取り組んでいます。



本校でも毎朝の挨拶運動や下駄箱の掃除など日々の活動の中で実践しています。11月19日(月)には甲斐市教育委員会の方が来校し、1,2年生合同の集会を通して、挨拶や言葉の大切さ、漢字を覚える大切さなどを伝えていくイベントが開催されました。様々な機会を通して双葉中や双葉東小とも連携し「双葉に育ち双葉を育てる人づくり」を進めて参ります。



秋の読書月間を展開中

先月末の「図書集会」を皮切りとして、全校を上げての読書推進の取組を続けています。各学級の指導とあわせて「抽選番号付きしおりの配布」「先生方による本の紹介と読み聞かせ」「おはなし隊やピッピの会による読み聞かせ」など、取組も様々です。

子ども時代の読書量が豊かな人生に密接に関係していると言われます。「読書は心の栄養」などとも言われ、知識が豊富になったり心が豊かになったりするものです。しかし読書の必要性は科学的な理由からもたいへん重要であると言われてしています。

人間の脳は、およそ140億個の神経細胞から構成されているそうですが、使われているのはその内のわずか3%程と言われてしています。天才と呼ばれる人でも6~7%程度だそうです。脳の神経細胞と神経細胞をつなげる働きをしている部分をシナプスと言いますが、新生児には少ないものの3歳までには80%ができあがり、10歳でほぼ完成すると言われてしています。だいたい20歳前後に発達が終了し、その後は減少の一途をたどるのだそうです。

このとき読書は、大脳を活性化させ発達させると同時に、その機能を維持し低下させないようにしてくれているのです。つまり0歳~3歳の読み聞かせが脳の発達には欠かせず、2歳~6歳に絵本を与えることが脳を活性化させ、7歳~12歳までの読書こそが、その後の思考力・創造力の原動力になるのだそうです。

秋の読書月間にあわせて、学校でも家での読書を勧める取り組みをしています。「子供の興味・関心を大切にすること」「読書に適した環境を整えること」など、できる範囲でご家庭でも取り組んでいただけたらと思います。

「今より早い時はない」とも言いますが、この機会に改めて読書の大切さを考え、親子で図書館に行ってみたり本を開いてみたりしてはいかがでしょうか。



学校応援団や外部講師の活躍

10月から11月にかけても大勢の学校応援団や外部講師の皆様に子どもたちの授業や環境整備に関わっていただきました。お忙しい中を大変ありがとうございました。



ミシンの指導



マット運動指導



ゴーヤ棚の撤去



鋸の指導



書写指導



華道指導

「西小まつり」の際にも、日頃お世話になっている学校応援団の方々に向けた感謝のカードを子供達作り、会場に掲示させていただきましたが、今後とも学校への温かな支援をお願いいたします。あわせて応援団への新規の加入も、心よりお待ちしております。